

県立広島病院

- 1 評価表
- 2 具体的取組状況

1 評価表 (広島病院)

1 具体的取組①

番号	取組方針	取組項目	実績総括	自己評価 ()はH27	委員会 評価	委員会意見
I 医療機能の強化と患者サービスの向上						
①	救急医療機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○救急患者受入体制の強化 ○脳心臓血管センターの運営 ○ドクターヘリへの運用協力・支援 	<ul style="list-style-type: none"> ○救急車受入台数は下半期から救急患者応需率の向上に向けた取組を実施し、下半期の受入を大幅に増やしたことで年度全体は前年を上回ったが、目標を達成することができなかった。 ○脳心臓血管センターの取組を周知するための研修会等を実施し着実な運営を行った。 ○ドクターヘリの運行に貢献した。 	○(○)	◎	<p>受入困難患者の分析や外科救急輪番制への参加など、救急患者受入体制を強化した結果、救急車受入台数は、昨年度に比べ252件増加、救急患者応需率も82%と8%増加しており、地域における救急医療体制を支えるという役割を果そうとした努力が具体化した点を高く評価した。</p> <p>また、脳・心臓血管センターの充実、ドクターヘリへの貢献等評価できる。</p> <p>一方で、三次救急の意義に関して県民が理解できるよう指標や表現に工夫が必要である。</p>
②	成育医療機能の強化	○成育医療センターの機能強化	<ul style="list-style-type: none"> ○NICU・GCUの受入患者数の増加に対応した。 ○分娩件数、採卵・胚移植件数が増加した。 	◎(◎)	◎	<p>NICU・GCU受入患者数、ハイリスク分娩数、新生児搬送受入件数、緊急母体搬送受入件数が経年的に増加し続けるなど、広島県成育医療の「最後の砦」としての医療機能を十分に発揮しており、県病でなければできない対応を高く評価する。</p>
③	がん医療機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○チーム医療を中心とする集学的治療の推進 ○広島がん高精度放射線治療センターとの連携 	<ul style="list-style-type: none"> ○がん診療連携拠点病院として、手術、化学療法、放射線療法、緩和ケアといった集学的な治療を提供した。 ○広島がん高精度放射線治療センターへの患者紹介など、連携の推進に取り組んだ。 	○(◎)	○	<p>集学的医療、先進的医療への努力を評価する。</p> <p>リニアック治療件数は経年的に減少傾向にある一方で、広島がん高精度放射線治療センターへの紹介件数は増加しており、治療機器を更新するのか、高精度放射線治療センターとの連携を深化させるのか、判断が求められている。</p>
④	地域医療への貢献	○地域医療連携の推進	○医師同伴での医療機関訪問や、地区医師会との懇談会を開催するなど、地域の医療機関との連携・交流を深めた。	○(◎)	○	<p>地域とのコミュニケーションには尽力されていることがうかがえる。</p> <p>一方で、病院中心の数Km範囲での地域医療連携は勿論重要だが、県全体への県病としての対応も必要である。</p>
⑤	医療安全と質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○医療安全の確保 ○医療の質の向上 ○改善活動 	<ul style="list-style-type: none"> ○医療安全の面では研修会への職員参加率が向上したが、質の向上においては、手術室の手術件数が増加する中で、全身麻酔の手術件数が目標を達成することができなかった。 ○TQM活動、5S活動、VMPS活動の取組を推進した。 	○(◎)	◎	<p>全身麻酔手術件数が目標を達成できなかったものの、ヒヤリ・ハット事例の収集・分析・対策立案、院内外での研修会の開催など、医療の安全と質の保障に対する取り組みは適切に実施されており、職員の意識は向上してきている。</p> <p>また、全国規模の臨床評価事業への参画、クリニカルパスの活用、さらにはチーム医療の展開やTQM・5S活動など積極的な取組を高く評価した。</p>
⑥	患者サービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> ○利便性の向上 ○広報の充実 ○患者ニーズ等への的確な対応と患者支援の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○外来待ち時間の短縮に取り組んだ。 ○無料送迎バスの運行の継続、患者利便性を向上させた。 ○トイレや浴室等の改修を進めて利用環境を向上させた。 	◎(◎)	○	<p>目標指標に対して改善の努力が示されたが、患者サービスには終わりがなく、まだ取り組むべきことがあると考える。また、満足度調査でのやや満足は、やや不満足ととらえるべきである。</p> <p>併せて、患者の紹介元である医療機関等の満足度にも目を向けていただきたい。</p>
II 人材育成・確保・派遣機能の強化						
⑦	医療人材の育成・確保・派遣	<ul style="list-style-type: none"> ○医師の育成・確保 ○看護師等コメディカルの確保・育成 ○医療人材の派遣等 	<ul style="list-style-type: none"> ○広大以外では県内で最多数の受入数を確保している。 ○県大と連携・協力したコメディカルの養成研修を実施した。 	◎(◎)	◎	<p>研修体制の整備について、新専門医制度対策やふるさと枠対策を含め、積極的に関与された。</p> <p>また、県内医療従事者に対する教育研修など、積極的に人材育成に取り組んでおり、評価できる。</p>

1 評価表 (広島病院)

1 具体的取組②

番号	取組方針	取組項目	実績総括	自己評価 ()はH27	委員会 評価	委員会意見
Ⅲ 危機管理対応力と経営力の強化						
⑧	危機管理対応力の強化	○災害・感染症対策の強化 ○DMAT隊を育成・研修を継続し、迅速に対応可能な体制の維持	○熊本地震などの災害対応にDMAT隊を派遣し、基幹災害拠点病院としての役割を果たすことができた。	◎(◎)	◎	県内最多のDMAT3チームを編成し、県内外のさまざまな事例に対し数多くの派遣を行っており、顕著な活動が示されている。
⑨	経営力の強化	○情報共有とPDCA ○事務部門の強化	○院長ヒアリング等を行い、各診療科と経営目標を共有し、延入院患者数の増加に繋がった。 ○新しい医療の実施、機能強化のため、必要な施設を整備し、器械備品を購入した。	○(○)	○	病床利用率は前年度を上回ったものの、新規入院患者数は目標値および前年度値を下回っている。 PDCAが回っているのか、明確ではない。
⑩	増収対策	○医業収益の増加策	○算定件数が少ない加算項目の増収の取組の実施した。 ○新規算定項目としては、総合入院体制加算1を開始した。	○(○)	○	地域の医療機関に診療内容が評価され、利用者が増加した点を高く評価した。 また、平均在院日数を維持しながらの病床稼働率up、総合入院体制加算1の取得や診療報酬加算項目の強化などにより、医業収益は約7億円増加しており、評価できる。
⑪	費用合理化対策	○適正な材料・備品の購入 ○経費の見直し	○新しい医療に取り組むものには積極的に費用を投入し、経常的なものは縮減するなどバランスをとりながら費用の合理化を進めることができた。	○(○)	○	後発医薬品使用比率80%超え、診療材料比率0.3%低減、光熱水費0.5億円の削減は評価できるが、人件費率が高すぎる。
Ⅳ 連携強化						
⑫	2病院の協力状況	○医薬品の共同購入 ○医療機能維持、質の向上への協力	○医療共同して共同購入や価格交渉を行った。 ○研修や改善活動の取組について共同で実施した。	○(○)	○	医薬品の共同購入、新人看護職員等職員交流会、看護部合同研修会の開催、病院間での相互医師派遣、広島病院MEの安芸津病院への派遣など、2病院の協力体制を評価する。 一方で、夫々の強みを生かすためにはという視点でもっとやることがあると思い、道半ばと評価した。

2 取組結果

Ⅴ 決算、目標指標						
⑬	収支改善、目標指標		○経営改善の努力を重ね、経常収支の黒字を達成した。	○(○)	○	約3億円の経常収支黒字を達成しており、収支的に改善している点を高く評価した。 一方で、入院患者、全身麻酔件数が減少しており、ひきつづきフォローが必要である。

総合評価	◎	「県民医療の最後の砦」として、創意工夫を凝らしながら、公共性と経済性をしっかりと両立させており、評価できる。 取組項目については、計画通りの取り組みがなされているものと評価できる。また、県病院の質改善に構成員が職種をこえて取り組むなど、医療機能は◎である。 一方で、経営面では、○の部分が多く、まだ改善すべき点がある。
------	---	---

2 具体的取組状況 (広島病院)

	H27	H28
自己評価	○	○
委員評価	◎	◎

I 医療機能の強化と患者サービスの向上

① 救急医療機能の強化

取組項目(計画)	H28の主な取組 ():対前年比較	取組に対する自己評価																																										
○救急患者受入体制の強化	<table border="1"> <thead> <tr> <th>重点指標</th> <th>H28</th> <th>目標比</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急車受入台数</td> <td>5,301台</td> <td>▲344台</td> <td>+252台</td> </tr> </tbody> </table> <p>★救急患者受入要請に対する応需率(※):81.6%(+8.1p)</p> <p>※上半期:77.5%, 下半期:84.9%</p> <p>(救急車受入台数の状況)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="3">前年比較</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">上半期</td> <td>救急車受入台数</td> <td>2,551</td> <td>2,306</td> <td>▲245</td> </tr> <tr> <td>うち入院</td> <td>1,786</td> <td>1,546</td> <td>▲240</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">下半期</td> <td>救急車受入台数</td> <td>2,498</td> <td>2,995</td> <td>+497</td> </tr> <tr> <td>うち入院</td> <td>1,467</td> <td>1,626</td> <td>+159</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">計</td> <td>救急車受入台数</td> <td>5,049</td> <td>5,301</td> <td>+252</td> </tr> <tr> <td>うち入院</td> <td>3,253</td> <td>3,172</td> <td>▲81</td> </tr> </tbody> </table> <p>＜取組＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 救急患者応需率の向上に向けた取組の実施〔H28.8～〕 ①救急患者受入困難事例状況報告制度を制定し、受入困難事例の要因分析・対策の実施 ②当直開始時のミーティングの徹底 ③当直業務のコンセプトを定めた「県立広島病院当直の手引き」の作成 ④外傷患者の受入ルールを定めた「当直における外傷患者(三次救急を除く)の取り扱い」の制定 <p>＜成果＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 救命救急センター延入院患者数:6,959人(+8人) 緊急手術件数:826件(+39件) <p>＜参考＞</p> <ul style="list-style-type: none"> H27広島県内の救命救急センター(7か所)における重篤患者受入数:7,159人 うち県立広島病院の受入数:1,160人(▲7人)県内2位 	重点指標	H28	目標比	前年比	救急車受入台数	5,301台	▲344台	+252台	区分	前年比較			H27	H28	増減	上半期	救急車受入台数	2,551	2,306	▲245	うち入院	1,786	1,546	▲240	下半期	救急車受入台数	2,498	2,995	+497	うち入院	1,467	1,626	+159	計	救急車受入台数	5,049	5,301	+252	うち入院	3,253	3,172	▲81	<p>■自己評価理由</p> <ul style="list-style-type: none"> 救急車受入台数は対前年上半期は減少したが、年度途中から救急患者応需率の向上に向けた取組を実施し、下半期の受入を大幅に増やしたことで前年を上回ったが、目標には達成することができなかった。 脳心臓血管センターにおいて、救急隊との連携を推進するため、症例検討会等を行った。 ドクターヘリ協力病院として、医師・看護師を派遣し、事業の継続に協力、一定数の患者を受け入れた。 <p>■課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 広島都市圏における、救急患者受入の強化
重点指標	H28	目標比	前年比																																									
救急車受入台数	5,301台	▲344台	+252台																																									
区分	前年比較																																											
	H27	H28	増減																																									
上半期	救急車受入台数	2,551	2,306	▲245																																								
	うち入院	1,786	1,546	▲240																																								
下半期	救急車受入台数	2,498	2,995	+497																																								
	うち入院	1,467	1,626	+159																																								
計	救急車受入台数	5,049	5,301	+252																																								
	うち入院	3,253	3,172	▲81																																								
○脳心臓血管センターの運営 <small>※脳心臓血管センターの関係診療科 脳神経内科、脳神経外科、循環器内科、心臓血管外科の4科</small>	<p>＜取組＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の医療従事者向け研修会の開催〔院外参加者:18人〕 救急隊との症例検討会の開催〔院外参加者:42人〕 <p>＜成果＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 脳心臓血管センター新規入院患者数:2,793人(▲74人) 主な血管内治療件数:610件(▲7件) 脳心臓血管管理手帳の配付対象患者:累計105人(+31人) 																																											
○ドクターヘリへの運用協力・支援	<p>＜取組＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成25年度から引き続き、週3日を県立広島病院、週4日を広島大学病院が担当 <p>＜成果＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 搬送(受入)患者数:54人(▲1人) ※参考:広島大学病院:74人(±0人) 																																											

(※)応需率:救急車受入件数/救急車受入要請件数(救急外来対応表を作成していない救急車受入は含まず。)

2 具体的取組状況 (広島病院)

	H27	H28
自己評価	◎	◎
委員評価	◎	◎

I 医療機能の強化と患者サービスの向上

② 成育医療機能の強化

取組項目(計画)	H28の主な取組 ():対前年比較	取組に対する自己評価																																																										
○成育医療センターの機能強化	<table border="1"> <thead> <tr> <th>重点指標</th> <th>H28</th> <th>目標比</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>NICU・GCU受入患者数</td> <td>10,676人</td> <td>+1,276人</td> <td>+510人</td> </tr> </tbody> </table> <p> ＜取組＞ ・退院時合同カンファレンスの開催:40件(成長発達の促進,親子関係形成のための支援,1,000g以下の超低出生体重児,双胎,医療ケア必要な家庭等) ・マタニティー・ヨガを導入するなど,妊婦さんへのマタニティーケアの向上 ・出産の祝い膳のリニューアル,手作りおやつの実施,産後の食事のアドバイスなどの充実 ・胚培養法の改善:胚培養器の更新による安定した胚培養の実施 ・卵巣刺激法の改善:カバサル法(※)とがん生殖でのランダムスタート法(※)を徹底 等 </p> <p> ＜成果＞ ・ハイリスク分娩管理加算件数:延1,171件(+219件) ・ハイリスク妊娠管理加算件数:延1,138件(+172件) ・胚移植件数:477件(+91件) ・採卵件数:344件(+18件) ・新生児搬送受入件数:87人(▲10人) ・緊急母体搬送受入件数:148件(+2件) ・分娩件数:655件(+33件) うち立ち合い分娩件数:133件(+62件) </p> <p> ＜参考＞ ○母親の出産年齢をその構成比較 </p> <table border="1"> <caption>母親の出産年齢をその構成比較</caption> <thead> <tr> <th>年齢区分</th> <th>広島県全体 (%)</th> <th>広島病院 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>15歳未満</td><td>0.0%</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>15～19</td><td>1.4%</td><td>0.8%</td></tr> <tr><td>20～24</td><td>9.5%</td><td>4.7%</td></tr> <tr><td>25～29</td><td>28.8%</td><td>20.8%</td></tr> <tr><td>30～34</td><td>35.4%</td><td>31.5%</td></tr> <tr><td>35～39</td><td>20.3%</td><td>31.5%</td></tr> <tr><td>40～44</td><td>4.5%</td><td>10.2%</td></tr> <tr><td>45～49</td><td>0.1%</td><td>0.6%</td></tr> <tr><td>50歳以上</td><td>0.0%</td><td>0.0%</td></tr> </tbody> </table> <p>○新生児科(病床利用率など)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>NICU・GCUの病床利用率</td> <td>93.5%</td> <td>97.1%</td> <td>108.4%</td> </tr> <tr> <td>広島病院の出生数(期間は年度)</td> <td>619</td> <td>620</td> <td>655</td> </tr> <tr> <td>うち新生児科での受入</td> <td>256</td> <td>312</td> <td>359</td> </tr> <tr> <td>広島県の出生数(期間は暦年)</td> <td>24,713</td> <td>23,775</td> <td>23,678</td> </tr> </tbody> </table>	重点指標	H28	目標比	前年比	NICU・GCU受入患者数	10,676人	+1,276人	+510人	年齢区分	広島県全体 (%)	広島病院 (%)	15歳未満	0.0%	0.0%	15～19	1.4%	0.8%	20～24	9.5%	4.7%	25～29	28.8%	20.8%	30～34	35.4%	31.5%	35～39	20.3%	31.5%	40～44	4.5%	10.2%	45～49	0.1%	0.6%	50歳以上	0.0%	0.0%	区分	H26	H27	H28	NICU・GCUの病床利用率	93.5%	97.1%	108.4%	広島病院の出生数(期間は年度)	619	620	655	うち新生児科での受入	256	312	359	広島県の出生数(期間は暦年)	24,713	23,775	23,678	<p> ■自己評価理由 ・NICU・GCUの受入患者数の増加,ハイリスク分娩件数の増加など,総合周産期母子医療センターとして,周産期医療の提供に役割を果たした。 ・体外受精・胚移植の卵巣刺激法,胚培養等の運用の改善により,採卵件数・胚移植件数が対前年を上回った。 ・妊婦のマタニティーケア向上の取組など,患者ニーズへの対応により,分娩件数が対前年を上回った。 </p> <p> ■課題 ・患者受入を断らない方針のもと,重症患者の受入を行っているが,NICU・GCUは満床状態が続いており,後方病床・後方施設の確保が不十分なため,新規受入を制限したことがあった。引き続き,後方病床・後方施設の確保が必要。 </p>
重点指標	H28	目標比	前年比																																																									
NICU・GCU受入患者数	10,676人	+1,276人	+510人																																																									
年齢区分	広島県全体 (%)	広島病院 (%)																																																										
15歳未満	0.0%	0.0%																																																										
15～19	1.4%	0.8%																																																										
20～24	9.5%	4.7%																																																										
25～29	28.8%	20.8%																																																										
30～34	35.4%	31.5%																																																										
35～39	20.3%	31.5%																																																										
40～44	4.5%	10.2%																																																										
45～49	0.1%	0.6%																																																										
50歳以上	0.0%	0.0%																																																										
区分	H26	H27	H28																																																									
NICU・GCUの病床利用率	93.5%	97.1%	108.4%																																																									
広島病院の出生数(期間は年度)	619	620	655																																																									
うち新生児科での受入	256	312	359																																																									
広島県の出生数(期間は暦年)	24,713	23,775	23,678																																																									

(※)カバサル法:卵巣過剰刺激症候群(OHSS)の予防

(※)ランダムスタート法:月経周期に関係なく排卵を誘発(がん治療前など緊急な場合)

2 具体的取組状況 (広島病院)

	H27	H28
自己評価	◎	○
委員評価	◎	○

I 医療機能の強化と患者サービスの向上

③ がん医療機能の強化

取組項目(計画)	H28の主な取組 ():対前年比較	取組に対する自己評価																		
○チーム医療を中心とする集学的治療の推進	<table border="1"> <thead> <tr> <th>重点指標</th> <th>H28</th> <th>目標比</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がん患者数</td> <td>4,658人</td> <td>+579人</td> <td>▲153人</td> </tr> </tbody> </table> <p> ＜取組＞ ・がん専門医よろず相談所の継続[H26.7～] ・広島がん高精度放射線治療センターへの患者紹介等による運営協力 ・がん診療におけるコンパニオン診断(※)への対応 <u>固形腫瘍のコンパニオン診断の基準となる器械(cobas)の導入による、遺伝子診断の迅速化への対応</u> ・がん治療連携医療機関のためのフォローアップ指針(第3版)の作成・配布 ・がん診療連携拠点病院共催市民講演会の開催 ※二次医療圏内5拠点病院による共催 ・がん医療従事者研修会の開催:6回(+3回) [院内参加者:229人, 院外参加者:78人] ・がんに関する治験の実施[治験実施計画書件数]:7件(+2件) ・緩和ケア専門研修の実施:543人(+23人) </p> <p> ＜成果＞ ・がん専門医よろず相談所の相談件数:136件(▲27件) [院外患者:77%, 院内患者:23%] ・広島がん高精度放射線治療センターへの紹介患者数:42人 [H27.10～:17人] ・6大がん連携バス登録医療機関数:532施設(+50施設) ※H29.4.1現在 ・6大がん地域連携バス適用件数:220件(+6件) ・悪性腫瘍手術件数:802件(▲13件) ・外来化学療法件数:7,201件(+189件) </p> <p> ＜参考＞ (リニアック治療件数の推移) </p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8,435 件</td> <td>9,519 件</td> <td>8,134 件</td> <td>7,703 件</td> <td>7,113 件</td> </tr> </tbody> </table>	重点指標	H28	目標比	前年比	がん患者数	4,658人	+579人	▲153人	H24	H25	H26	H27	H28	8,435 件	9,519 件	8,134 件	7,703 件	7,113 件	<p> ■自己評価理由 ・がん患者数は目標を上回ることができた。 </p> <p> ・広島がん高精度放射線治療センターへの患者紹介等、連携の推進に取り組んだ。 </p> <p> ■課題 ・がん患者数が前年を下回った。 </p> <p> ・がん診療連携拠点病院ではあるが、放射線治療機器が老朽化(導入して11年経過)しており、機器の性能により、高精度放射線治療が必要な入院患者を受け入れる事が出来ないなど、治療件数は減少傾向にある。 </p>
重点指標	H28	目標比	前年比																	
がん患者数	4,658人	+579人	▲153人																	
H24	H25	H26	H27	H28																
8,435 件	9,519 件	8,134 件	7,703 件	7,113 件																

(※)コンパニオン診断:医薬品の効果や副作用を投薬前に診断

2 具体的取組状況 (広島病院)

	H27	H28
自己評価	◎	○
委員評価	○	○

I 医療機能の強化と患者サービスの向上

④ 地域医療への貢献

取組項目(計画)	H28の主な取組				():対前年比較	取組に対する自己評価																				
○地域医療連携の推進	<table border="1"> <thead> <tr> <th>重点指標</th> <th>H28</th> <th>目標比</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>94.7%</td> <td>+14.7p</td> <td>+4.5p</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>93.3%</td> <td>+13.3p</td> <td>+5.3p</td> </tr> </tbody> </table>				重点指標	H28	目標比	前年比	紹介率	94.7%	+14.7p	+4.5p	逆紹介率	93.3%	+13.3p	+5.3p		<p>■自己評価理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師同伴での医療機関訪問や、地区医師会との懇談会、病診連携カンファレンスの開催など、連携・交流を推進し、紹介率・逆紹介率が目標・前年ともに上回った。 ・地域の二次救急医療に対応するため、広島地区の外科輪番に参加した。 <p>■課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外来患者のうち症状の軽い患者と考えられる割合が28%と、地域の診療所的な機能がまだ残っている。 <p>○外来単価別 外来患者数(H28)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1,500円以下</th> <th>3,000円以下</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>患者割合</td> <td>21%</td> <td>7%</td> <td>28%</td> </tr> </tbody> </table>		1,500円以下	3,000円以下	計	患者割合	21%	7%	28%
	重点指標	H28	目標比	前年比																						
紹介率	94.7%	+14.7p	+4.5p																							
逆紹介率	93.3%	+13.3p	+5.3p																							
	1,500円以下	3,000円以下	計																							
患者割合	21%	7%	28%																							
	<p>○地域医療連携の推進</p> <p>●重点指標</p> <p>●H28</p> <p>●目標比</p> <p>●前年比</p> <p>●紹介率</p> <p>●94.7%</p> <p>●+14.7p</p> <p>●+4.5p</p> <p>●逆紹介率</p> <p>●93.3%</p> <p>●+13.3p</p> <p>●+5.3p</p> <p>●取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二次救急医療における広島地区の外科輪番への参加[H29.3~] ※月2回程度 ・医師同伴による医療機関訪問の実施 ※H28は西区等を中心に訪問 ・地区医師会との懇談会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ①東広島地区医師会(H28.10:医師会参加者39人) ②広島市南区医師会(H29.2:医師会参加者57人) [参考 H26:西区・東区・中区医師会, H27:南区・佐伯区・安芸地区医師会, 広島市歯科医師会] ・南区医師会との連携による研修会 <ul style="list-style-type: none"> [在宅ケア等をテーマに5回開催, 延参加者:377人] ・病診連携カンファレンスの開催:85人 [院外参加者:35人] ・地域連携推進カンファレンスの開催 [院外参加者:37人, 15施設] ・病診連携談話会の開催:98人 [院外参加者:50人] <p>●成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療機関訪問件数:332件(+10件) <ul style="list-style-type: none"> うち医師同伴件数:154件(▲88件) ・KBネット接続医療機関数:228機関(+14機関) <p>●参考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「広島がん・生殖医療ネットワーク(HOFNET)」設立への協力 ・医師や認定看護師の講師派遣以外に、助産師の講師派遣(命の授業(中学校), 産後セミナー, 妊婦セミナー, 県大講師等)も実施 ・NST教育認定施設として院外11名・院内6名のメディカルスタッフ育成研修実施(5月~12月カリキュラムの実施) ・その他, 医療安全の教育研修, 感染症対策の教育研修, 新人看護師研修等を年間通して実施(他医療機関から延べ422人参加) ・医学生の実習受入れ数:診療参加型の臨床実習(4週間 ※平成28年2月~実施)4名, 従来型の臨床実習(2週間)67名(延べ人数) ・医学生の病院見学受入れ数:6年生27回, 5年生65回 ・一般県民向けの地域健康フォーラム, 地域巡回講演会などを実施 																									

2 具体的取組状況 (広島病院)

	H27	H28
自己評価	◎	○
委員評価	◎	◎

I 医療機能の強化と患者サービスの向上

⑤ 医療安全と質の向上(その1)

取組項目(計画)	H28の主な取組 ():対前年比較	取組に対する自己評価								
○医療安全の確保	<p>★転倒・転落発生率(レベル2以上):0.0003%(△0.0004P)</p> <p>◀取組▶</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療安全対策委員会の開催:12回(±0回) アクシデント報告件数 H28:16件, H27:15件 セーフティマネージメントニュースの発行[毎月], 医療安全管理者による巡視 医療安全と感染対策に係る研修会を同時開催し, 所属長へ研修の出席状況を定期的に通知・参加促進(必要性の認識向上) 耐性菌に対する感染対策として感染症例検討会の実施 感染症に関する研修会の実施:32回(▲10回) 南区医師会, 広島県看護協会南支部に向けた公開研修会の開催 広島医療安全管理者ネットワーク会議の開催:2回(±0回) ※県内500床以上の急性期病院で構成 <p>◀成果▶</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療安全と感染にかかる研修会の延参加者数, 研修参加率 延参加者数 医療安全:3,539人(+589人), 感染症:4,479人(+1,038人) 研修参加率 医療安全:60%(+20p), 感染対策:70%(+13p) ※研修参加率…年2回以上参加割合, 対象は全職員 	<p>■自己評価理由</p> <ul style="list-style-type: none"> 転倒・転落発生率(レベル2以上)が前年より改善した。 研修会への参加促進などの取組により, 医療安全と感染対策研修会への全職員の年2回以上の参加割合が向上した。 手術室における手術件数は前年を大きく上回った。 医療の高度化に取り組んだ結果, H28.4からDPCⅡ群に参入することができ, 機能評価係数Ⅱは県内1位, 全国34位であった。 <p>■課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 全身麻酔手術件数が目標を下回った。 								
○医療の質の向上 ・高度急性期における入院患者への対応	<table border="1"> <thead> <tr> <th>重点指標</th> <th>H28</th> <th>目標比</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全身麻酔手術件数</td> <td>4,273件</td> <td>▲161件</td> <td>▲7件</td> </tr> </tbody> </table> <p>◀取組▶</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療の高度化に取り組み, DPCⅡ群に参入(H28.4～) 手術室を効率的に運用させるため, 翌週の手術予定一覧を作成配付, 空き枠の有効活用 急性期リハビリテーションの対象患者を中心に, 可能な限り早期から高密度に介入 入院時栄養不良患者に対し栄養管理計画書を作成し, 対象患者への説明を開始 <p>◀成果▶</p> <ul style="list-style-type: none"> 機能評価係数Ⅱ(DPC病院Ⅱ群内):県内1位, 全国順位:34位 ※H29:21位 手術室における手術件数:7,016件(+494件) リハビリテーション算定件数:90,942件(+1,477件) 栄養食事指導算定件数:3,942件(+670件) 	重点指標	H28	目標比	前年比	全身麻酔手術件数	4,273件	▲161件	▲7件	
重点指標	H28	目標比	前年比							
全身麻酔手術件数	4,273件	▲161件	▲7件							

2 具体的取組状況 (広島病院)

I 医療機能の強化と患者サービスの向上

⑤ 医療安全と質の向上(その2)

取組項目(計画)	H28の主な取組 (): 対前年比較	取組に対する自己評価															
○チーム医療の充実	<p>《取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> 多職種からなる5チームが院内で横断的に活動 ①栄養サポート, ②褥瘡管理, ③糖尿病, ④摂食・嚥下チーム, ⑤緩和ケア <p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> 栄養サポートチーム算定件数: 1,220件(▲35件), 褥瘡ハイリスク患者ケア算定件数: 1,705件(+2件) 糖尿病透析予防チーム算定件数: 32件(▲2件) 摂食機能療法算定件数: 1,817件(▲599件) 周術期口腔機能管理算定件数: 7,748件(+44件) 	<p>■自己評価理由</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的にチーム医療を推進している。 クリニカルパス使用率は、全国自治体病院の平均値を上回っている。 <p>■課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢化に対応したチーム医療体制の構築(認知症ケアチーム, 精神科リエゾンチームの設置検討) 															
○電子カルテ, クリニカルパスの活用	<p>《取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> 3ヶ月ごとに病院の臨床データを全国自治体病院協議会へ提出し、全国の状況と比較「臨床評価指標」を作成し、病院ホームページで公開 DPCデータから各診療科別の主要疾患の診療データ等をホームページで公開 後発薬品変更(40品)に伴うクリニカルパスをパスWG・薬剤科・医療情報と連携して効率的に修正 <p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> クリニカルパス使用率 <table border="1" data-bbox="459 892 1081 996"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H28.4~6</th> <th>H28.7~9</th> <th>H28.10~12</th> <th>H29.1~3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当院</td> <td>56.1%</td> <td>55.6%</td> <td>55.4%</td> <td>51.8%</td> </tr> <tr> <td>全国平均</td> <td>42.4%</td> <td>41.4%</td> <td>42.6%</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>※全国自治体病院協議会公表「医療の質の評価・公表事業等推進病院」より</p> <ul style="list-style-type: none"> パスWGの作業時間13時間(H26: 48.5時間, 変更40品) 削減35.5時間 	区分	H28.4~6	H28.7~9	H28.10~12	H29.1~3	当院	56.1%	55.6%	55.4%	51.8%	全国平均	42.4%	41.4%	42.6%	—	
区分	H28.4~6	H28.7~9	H28.10~12	H29.1~3													
当院	56.1%	55.6%	55.4%	51.8%													
全国平均	42.4%	41.4%	42.6%	—													
○三強化分野以外の医療の質の向上への取組	<p>《取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> 臨床検査部門における、ISO15189(※)のH29年度取得に向けた取組を開始 																

(※)ISO15189: 臨床検査部門の品質と能力に関する要求事項を定めたISO規格

2 具体的取組状況 (広島病院)

I 医療機能の強化と患者サービスの向上

⑤ 医療安全と質の向上(その3)

取組項目(計画)	H28の主な取組 ():対前年比較	取組に対する自己評価																																																								
○改善活動	<p> 《取組》 ①TQMサークル活動 ・目的:QC的問題解決手法の学習,組織活性化 ・活動サークル:14サークル(+2サークル) ・活動期間:平成28年4月～平成29年2月(※発表大会8月,継続報告会2月) 【研修会の開催】 ・TQMサークル活動研修等(年4回実施):参加者延490人 ②5S活動 ・H28は主に『整頓』を実施 『整頓』…物の置き方や表示の仕方について院内のルールを定めて取組を実施。 ・半期ごとにラウンドを実施し取組状況を評価し,特に成果を上げた部署を表彰した。 [上半期ラウンド報告会:H28.10.11] [下半期ラウンド報告会:H29. 2.10] </p> <p> 《成果》 ○TQM手法取得者数(累計)の目標 ・TQM手法習得者数(累計):160人(+85人) </p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>210人</td> <td>330人</td> <td>450人</td> <td>570人</td> </tr> </tbody> </table> <p> 《参考》 (H28:TQMチーム一覧) </p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>サークル名</th> <th>部署</th> <th></th> <th>サークル名</th> <th>部署</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>プロジェクト救</td> <td>救急外来</td> <td>8</td> <td>くすりビフォーアフター</td> <td>東8病棟</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>チーム脳プロブレムにしたい脳</td> <td>南2病棟</td> <td>9</td> <td>なでしこ改善隊</td> <td>西5病棟</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Bone～再生</td> <td>南6病棟</td> <td>10</td> <td>スマイル007(すまいるせぶん)</td> <td>西7病棟</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>KJK(傾聴 受容 共感)</td> <td>南7病棟</td> <td>11</td> <td>とにかく優しい栄養管理科</td> <td>栄養管理科</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>救命センター 24時</td> <td>救命救急センター</td> <td>12</td> <td>ビューティフルラボ</td> <td>臨床研究検査科</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>東5病棟 改善隊</td> <td>東5病棟</td> <td>13</td> <td>もったいないチーム</td> <td>管財課</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>真心丸</td> <td>東7病棟</td> <td>14</td> <td>安心してください「変えてますよ!」</td> <td>経営企画 担当</td> </tr> </tbody> </table>	H29	H30	H31	H32	210人	330人	450人	570人		サークル名	部署		サークル名	部署	1	プロジェクト救	救急外来	8	くすりビフォーアフター	東8病棟	2	チーム脳プロブレムにしたい脳	南2病棟	9	なでしこ改善隊	西5病棟	3	Bone～再生	南6病棟	10	スマイル007(すまいるせぶん)	西7病棟	4	KJK(傾聴 受容 共感)	南7病棟	11	とにかく優しい栄養管理科	栄養管理科	5	救命センター 24時	救命救急センター	12	ビューティフルラボ	臨床研究検査科	6	東5病棟 改善隊	東5病棟	13	もったいないチーム	管財課	7	真心丸	東7病棟	14	安心してください「変えてますよ!」	経営企画 担当	<p> ■自己評価理由 ・TQMサークル活動, 5S活動, VMPS活動に継続的に取組んだ。 ・TQMサークル活動では,サークル数を増やすことで, TQM手法取得者数を前年より増加させるなど,取組の推進を強化した。 </p> <p> ■課題 ・改善活動に関わる人材を継続的に育成する必要がある。 </p>
H29	H30	H31	H32																																																							
210人	330人	450人	570人																																																							
	サークル名	部署		サークル名	部署																																																					
1	プロジェクト救	救急外来	8	くすりビフォーアフター	東8病棟																																																					
2	チーム脳プロブレムにしたい脳	南2病棟	9	なでしこ改善隊	西5病棟																																																					
3	Bone～再生	南6病棟	10	スマイル007(すまいるせぶん)	西7病棟																																																					
4	KJK(傾聴 受容 共感)	南7病棟	11	とにかく優しい栄養管理科	栄養管理科																																																					
5	救命センター 24時	救命救急センター	12	ビューティフルラボ	臨床研究検査科																																																					
6	東5病棟 改善隊	東5病棟	13	もったいないチーム	管財課																																																					
7	真心丸	東7病棟	14	安心してください「変えてますよ!」	経営企画 担当																																																					

2 具体的取組状況 (広島病院)

	H27	H28
自己評価	◎	◎
委員評価	○	○

I 医療機能の強化と患者サービスの向上

⑥ 患者サービスの向上(その1)

取組項目(計画)	H28の主な取組 ():対前年比較	取組に対する自己評価
○利便性の向上	<p>◀取組▶</p> <ul style="list-style-type: none"> 産婦人科外来の待ち時間対策として、超音波エコー予約枠を新規に作成し、待ち時間が約30分⇒約22分に短縮 駐車場待ち時間対策として、無料送迎バス[イオン宇品店⇄当院]の継続運行 利用者延数:24,263人(+3,206人) 南4・7病棟のトイレ・浴室改修工事を実施し、南棟改修完了 個室療養環境改善改修工事[47室)を実施 南5・6病棟、西6・7病棟へ飲料自販機設置拡大 <p>◀成果▶</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者アンケートの満足度(外来):95.7%(▲1.6p) 患者アンケートの満足度(入院):97.6%(▲1.4p) 患者アンケートの満足度(外来待ち時間):61.6%(+20.8p) 無料バスの延利用者数:24,263人(+3,206人) 	<p>■自己評価理由</p> <ul style="list-style-type: none"> 産婦人科での予約枠の取り組みなど、引き続き待ち時間の短縮に取り組んだところ、患者アンケートの満足度(外来待ち時間)が+20PUpと大きく向上した。 病棟のトイレ、浴室改修や個室の改修、病棟への自販機設置など入院患者の療養環境の改善を行った。 95%以上の高い満足度を得ているが、前年に比べ、入院・外来の満足度は微減している。 <p>■課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 外来アンケートの「駐車場」、「待ち時間」、入院アンケートの「食事」の項目(P11参照)は、他の項目と比較して低い事から、引き続き改善に取り組む必要がある。
○広報の充実	<p>◀取組▶</p> <ul style="list-style-type: none"> 病院ホームページを改修し、各診療科の医療機能や治療内容が見やすくなるよう改善 地域巡回講演会の開催:3ヶ所(▲7ヶ所) 職員が地域へ出向き、疾病の予防や最新の治療内容などについて講演 地域健康フォーラムの開催「便秘と大腸がんについて」(10/1) 広島市南区医師会、広島市南区地域保健対策協議会との共催 主な新聞記事11件、テレビ2件 『専門医が診る 炎症性腸疾患』(7/13中国新聞)、『専門医が診る 下垂体腫瘍』(10/11中国新聞) 『命をつなぐ デモン閣下が見た広島「がん対策』』(12/29RCCテレビ) 等 <p>◀成果▶</p> <ul style="list-style-type: none"> HP閲覧件数:13.8万件/月(+0.2万件/月) ※HPページビュー回数 	

2 具体的取組状況 (広島病院)

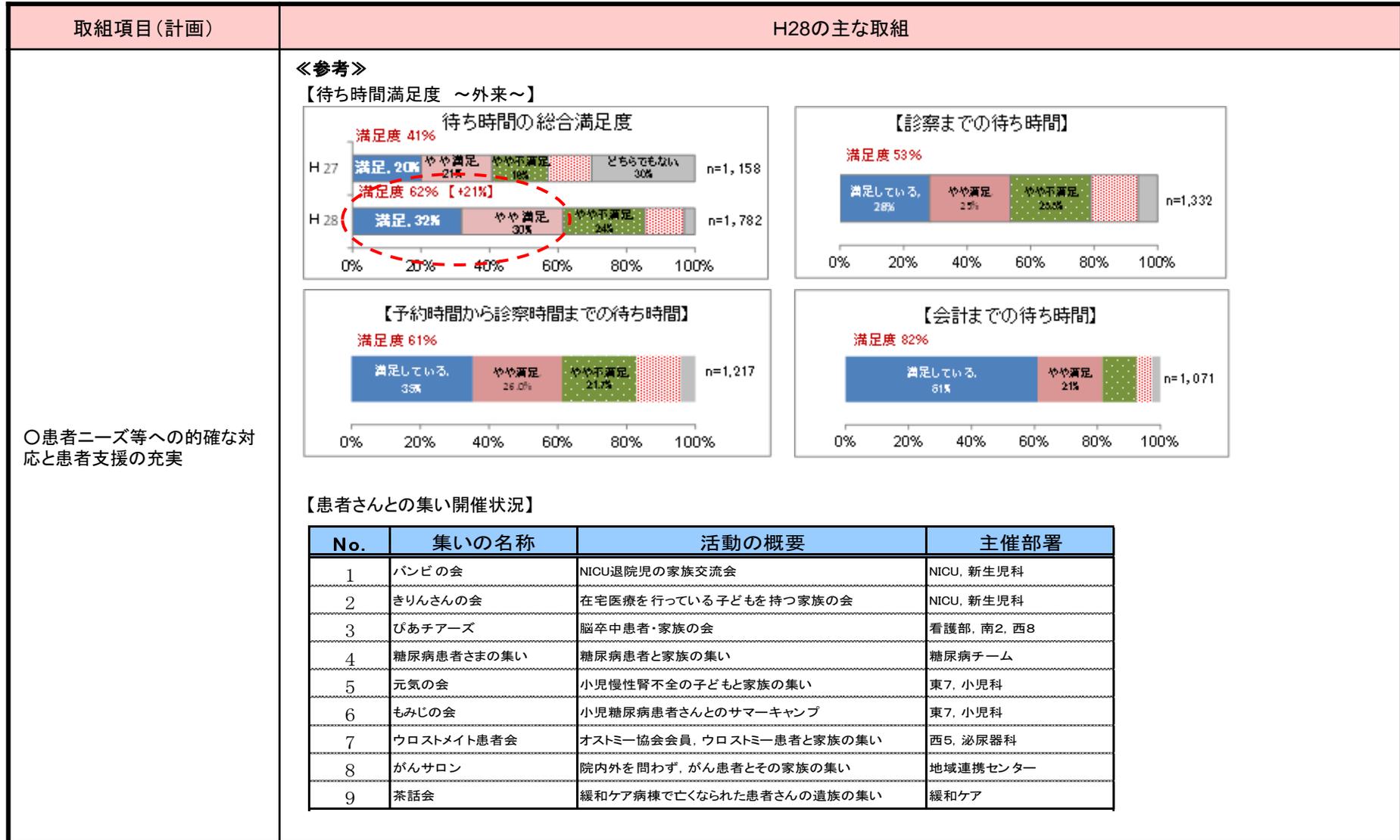
I 医療機能の強化と患者サービスの向上

⑥ 患者サービスの向上(その2)

取組項目(計画)	H28の主な取組																																																																											
<p>○患者ニーズ等への的確な対応と患者支援の充実</p>	<p>《参考》 【平成28年度実施 患者アンケート(満足度調査)の概要について】 ・対象患者を入院患者、外来患者(初診、再診)へ分けて実施、集計</p> <table border="1" data-bbox="459 415 1335 605"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">入院患者</th> <th colspan="2">外来患者</th> </tr> <tr> <th>初診患者</th> <th>再診患者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>調査期間</td> <td>H29.1.10(火)~2.10(金)</td> <td>H29.1.10(火)~2.10(金)</td> <td>H29.1.16(月)~1.20(金)</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>期間中の退院患者 (救命救急C, 緩和ケア病棟除く)</td> <td>期間中の初診患者</td> <td>期間中の再診患者</td> </tr> <tr> <td>回答数</td> <td>384人(配布750枚)</td> <td colspan="2">2,466人(配布2,700枚)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【患者満足度調査結果の概要】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="440 729 1132 1296"> <h4>外来満足度</h4> <table border="1"> <caption>外来満足度 (H27 vs H28)</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H27 (%)</th> <th>H28 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>総合満足度</td><td>78.9%</td><td>95.7%</td></tr> <tr><td>診察時間</td><td>61.6%</td><td>78.9%</td></tr> <tr><td>待ち時間全体の満足度</td><td>61.6%</td><td>95.7%</td></tr> <tr><td>清掃</td><td>91.4%</td><td>95.7%</td></tr> <tr><td>プライバシーへの配慮</td><td>87.0%</td><td>91.4%</td></tr> <tr><td>案内表示</td><td>60.4%</td><td>87.0%</td></tr> <tr><td>駐車場</td><td>60.4%</td><td>60.4%</td></tr> <tr><td>スタッフの接遇</td><td>95.5%</td><td>95.5%</td></tr> <tr><td>知り合いへの紹介</td><td>84.8%</td><td>84.8%</td></tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="1176 729 1827 1296"> <h4>入院満足度</h4> <table border="1"> <caption>入院満足度 (H27 vs H28)</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H27 (%)</th> <th>H28 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>総合満足度</td><td>97.0%</td><td>97.6%</td></tr> <tr><td>医師接遇</td><td>97.0%</td><td>97.6%</td></tr> <tr><td>看護師接遇</td><td>95.7%</td><td>95.7%</td></tr> <tr><td>清掃</td><td>95.2%</td><td>95.2%</td></tr> <tr><td>プライバシーへの配慮</td><td>85.8%</td><td>85.8%</td></tr> <tr><td>コンビニ</td><td>91.2%</td><td>91.2%</td></tr> <tr><td>食事</td><td>77.9%</td><td>77.9%</td></tr> <tr><td>知り合いへの紹介</td><td>91.8%</td><td>91.8%</td></tr> </tbody> </table> </div> </div>	区分	入院患者	外来患者		初診患者	再診患者	調査期間	H29.1.10(火)~2.10(金)	H29.1.10(火)~2.10(金)	H29.1.16(月)~1.20(金)	対象	期間中の退院患者 (救命救急C, 緩和ケア病棟除く)	期間中の初診患者	期間中の再診患者	回答数	384人(配布750枚)	2,466人(配布2,700枚)		項目	H27 (%)	H28 (%)	総合満足度	78.9%	95.7%	診察時間	61.6%	78.9%	待ち時間全体の満足度	61.6%	95.7%	清掃	91.4%	95.7%	プライバシーへの配慮	87.0%	91.4%	案内表示	60.4%	87.0%	駐車場	60.4%	60.4%	スタッフの接遇	95.5%	95.5%	知り合いへの紹介	84.8%	84.8%	項目	H27 (%)	H28 (%)	総合満足度	97.0%	97.6%	医師接遇	97.0%	97.6%	看護師接遇	95.7%	95.7%	清掃	95.2%	95.2%	プライバシーへの配慮	85.8%	85.8%	コンビニ	91.2%	91.2%	食事	77.9%	77.9%	知り合いへの紹介	91.8%	91.8%
区分	入院患者			外来患者																																																																								
		初診患者	再診患者																																																																									
調査期間	H29.1.10(火)~2.10(金)	H29.1.10(火)~2.10(金)	H29.1.16(月)~1.20(金)																																																																									
対象	期間中の退院患者 (救命救急C, 緩和ケア病棟除く)	期間中の初診患者	期間中の再診患者																																																																									
回答数	384人(配布750枚)	2,466人(配布2,700枚)																																																																										
項目	H27 (%)	H28 (%)																																																																										
総合満足度	78.9%	95.7%																																																																										
診察時間	61.6%	78.9%																																																																										
待ち時間全体の満足度	61.6%	95.7%																																																																										
清掃	91.4%	95.7%																																																																										
プライバシーへの配慮	87.0%	91.4%																																																																										
案内表示	60.4%	87.0%																																																																										
駐車場	60.4%	60.4%																																																																										
スタッフの接遇	95.5%	95.5%																																																																										
知り合いへの紹介	84.8%	84.8%																																																																										
項目	H27 (%)	H28 (%)																																																																										
総合満足度	97.0%	97.6%																																																																										
医師接遇	97.0%	97.6%																																																																										
看護師接遇	95.7%	95.7%																																																																										
清掃	95.2%	95.2%																																																																										
プライバシーへの配慮	85.8%	85.8%																																																																										
コンビニ	91.2%	91.2%																																																																										
食事	77.9%	77.9%																																																																										
知り合いへの紹介	91.8%	91.8%																																																																										

I 医療機能の強化と患者サービスの向上

⑥ 患者サービスの向上(その3)



2 具体的取組状況 (広島病院)

	H27	H28
自己評価	◎	◎
委員評価	◎	◎

II 人材育成・確保・派遣機能の強化

⑦ 医療人材の育成・確保・派遣(その1)

取組項目(計画)	H28の主な取組 ():対前年比較	取組に対する自己評価								
○医師の育成・確保	<table border="1"> <thead> <tr> <th>重点指標</th> <th>H28</th> <th>目標比</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初期臨床研修医受入数</td> <td>35名</td> <td>+3名</td> <td>+2名</td> </tr> </tbody> </table> <p>※広大たすきがけ研修医(2名)含む</p> <p>＜取組＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・院内に「臨床研修センター」を新設し、医科臨床研修(初期・後期)、歯科医師臨床研修、新専門医制度等を統括的に対応 ・広島大学病院たすきがけ研修医2名〔2年次:通年ローテート〕 ・協力型臨床研修病院として受入れ3名〔広島大学病院:2名、呉医療センター:1名〕 ・初期臨床研修医の学会発表:8名〔日本内科学会、日本呼吸器学会等で4名が研修医Award受賞〕 <p>＜成果＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初期臨床研修マッチングの状況:定員15人(▲2人) ・マッチング者数 13人(▲4人)、マッチ率:86.7%(▲13.3p) ◇県内全体のマッチングの状況 168人/210人(80%)、初期臨床研修医は広島大学病院の除いて最多 ・初期臨床研修医の広島県内への定着率:当院85.7%(自治医大卒、広大たすきがけ研修医を除く) ※広島県全体:79.9%(平成28年度広島県地域医療支援センター調べ) 	重点指標	H28	目標比	前年比	初期臨床研修医受入数	35名	+3名	+2名	<p>■自己評価理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初期臨床研修医のフルマッチは未達であったが、大学病院を除き、県内最多数の受入数を維持している。 <p>・「臨床研修センター」を設置し、新専門医制度開始に向けたプログラムの整備や、学生の実習受入れ環境の改善などを行った。</p> <p>■課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新専門医制度における大学や他の基幹施設等との連携、調整 <p>・医師、看護師以外の教育研修体制の充実</p>
重点指標	H28	目標比	前年比							
初期臨床研修医受入数	35名	+3名	+2名							
・院内保育所の充実など、女性医師の復職支援体制	<p>＜取組＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ママ友会の開催」(9/9, 1/21) ※育児休業中職員による子育てや仕事についての意見交換会 ・院内保育(継続) H28年度末 20人(0才～2才) 									
・学会、セミナー等への参加機会拡充 ・積極的な医学生の実習受入	<p>＜取組＞</p> <p>【研修会・学会発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間研修計画作成による院内研修の体系化及び全体把握(看護師、コメディカル研修を含む) ・海外での学会発表〔医師〕:7件(▲3件) 欧州消化器病週間(UEG WEEK2016):ウィーン、米国臨床腫瘍学会(ASCO2016):シカゴなど <p>【学生の実習受入れ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診療参加型の臨床実習の実施(H29.3～):1人(H29:3人予定)、更衣室・休憩室の整備 									

2 具体的取組状況 (広島病院)

II 人材育成・確保・派遣機能の強化

⑦ 医療人材の育成・確保・派遣(その2)

取組項目(計画)	H28の主な取組 (): 対前年比較	取組に対する自己評価																																																		
○看護師等コメディカルの確保・育成	<p>《取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定看護師の育成・確保 <p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定看護師資格取得に向けた研修受講者:1名 ・認定看護師の状況 ※県内の病院のなかで登録者数は最多 <p>H29.6.7現在</p> <table border="1" data-bbox="455 494 1406 608"> <thead> <tr> <th>分野</th> <th>集中ケア</th> <th>救急</th> <th>手術室</th> <th>緩和ケア</th> <th>がん性疼痛</th> <th>がん化学療法</th> <th>乳がん</th> <th>がん放射線</th> <th>新生児</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <th>分野</th> <th>小児救急</th> <th>不妊症</th> <th>皮膚排泄ケア</th> <th>感染管理</th> <th>摂食嚥下</th> <th>脳卒中リハビリ</th> <th>認知症</th> <th>透析</th> <th>慢性心不全</th> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>合計</td> <td>31</td> </tr> </tbody> </table> <p>・看護師の離職率 県立広島病院 5.7%(+0.6p), 全国500床以上病院の平均 10.2%(H27) ※全国平均の出典:公益社団法人日本看護協会の病院看護実態調査</p> <p>《参考》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コメディカル中堅層対象のマネジメント力養成研修を実施(看護師を除く) 県立広島大(MBA)と連携・協力し, 県内全域の医療機関等を対象に開催(H29.2~3月に計4回) 	分野	集中ケア	救急	手術室	緩和ケア	がん性疼痛	がん化学療法	乳がん	がん放射線	新生児	人数	2	0	1	3	2	3	1	1	3	分野	小児救急	不妊症	皮膚排泄ケア	感染管理	摂食嚥下	脳卒中リハビリ	認知症	透析	慢性心不全	人数	1	1	3	3	2	1	2	1	1									合計	31	<p>■自己評価理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多数の認定看護師の配置や看護師の離職率が低いことで, 職員間の技術伝達などが行え, 質の高い看護体制を構築している。 ・他施設の職員の受け入れや, 自院の職員を地域へ派遣をするなど医療人材面での支援を行った。 <p>■課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師, 看護師以外の教育研修体制の整備
分野	集中ケア	救急	手術室	緩和ケア	がん性疼痛	がん化学療法	乳がん	がん放射線	新生児																																											
人数	2	0	1	3	2	3	1	1	3																																											
分野	小児救急	不妊症	皮膚排泄ケア	感染管理	摂食嚥下	脳卒中リハビリ	認知症	透析	慢性心不全																																											
人数	1	1	3	3	2	1	2	1	1																																											
								合計	31																																											
・地域の医療従事者向け実務研修を積極的に主催	<p>《取組》</p> <p>地域の医療従事者向け実務研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん医療従事者研修会の開催 ・救急救命士の実習受入:66人(+5人) ・NST専門療法士研修会 院外参加者:11人(+3人) ※看護師, 管理栄養士, 言語聴覚士 ・広島県新人看護職員研修事業への参加 [3医療機関から9人受入(▲4人)] <p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・院内研修への地域医療従事者延参加者数:422人(▲2人) 																																																			
○医療人材の派遣等	<p>《取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公的機関や他の医療施設などから派遣依頼を受託し, 医師や認定看護師を中心に派遣 <p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師の診療応援:40回(▲5回) ※呉共済病院, 神石高原町立病院など ・三原市大和診療所等へ代診医の派遣:3回 ・看護師の派遣:2名(±0名) ・医師の講師派遣:253回(+121回) ・看護師の講師派遣:122回(▲10回) 																																																			

2 具体的取組状況 (広島病院)

	H27	H28
自己評価	◎	◎
委員評価	◎	◎

Ⅲ 危機管理対応力と経営力の強化

⑧ 危機管理対応力の強化

取組項目(計画)	H28の主な取組 ():対前年比較	取組に対する自己評価
○災害・感染症対策の強化	<p>◀取組▶ (災害発生対策) ・院内災害訓練の実施(1/25) 87人参加 ・衛星電話定期通信訓練 ・災害対応講演会(10/3) 演題:「関東豪雨災害の全体像, DMAT活動」 対象:院内職員, 院外災害医療関係者 (感染症対策に関する取組) ・感染症に関する研修会の実施 32回, 感染症対策委員会年12回開催 ・南区医師会, 広島県看護協会南支部に向けた公開研修会を開催</p>	<p>■自己評価理由 ・県内最多のDMATチーム数を有しており, 熊本地震の被災地対応, オバマ大統領の広島訪問対応, 広島市内で発生した小学校の熱中症集団発生事案について, DMAT隊を派遣した。</p> <p>■課題 ・DMAT隊の人材確保・育成, 災害対策訓練の継続実施</p>
○DMAT隊を育成・研修を継続し, 迅速に対応可能な体制の維持	<p>◀取組▶ ・県立広島病院DMAT[3チーム編成可能:県内最多のチーム数] 構成:医師6人, 看護師6人, その他職種4人[放射線技師, 臨床工学技士, 薬剤師, 事務職員] (DMAT育成研修) ・平成28年度DMAT技能維持研修 ・平成28年度大規模地震時医療活動訓練 ・平成28年度集団災害医療救護訓練 ・中国地区DMAT実働訓練, 旅客船事故対応訓練への参加 など (DMAT出動事例) ・H28.4.16~4.19 熊本地震の被災地対応 (現場出動5名, 県調整本部6名, 院内活動3名) ・H28.5.2 オバマ大統領広島訪問対応 (国際会議場に医療救護班として4名待機) ・H28.9.27 大洲小学校熱中症集団発生 (現場出動3名, 院内活動6名)</p> <p>◀成果▶ ・DMAT研修等回数:21回(▲4回)</p>	

2 具体的取組状況 (広島病院)

	H27	H28
自己評価	○	○
委員評価	○	○

Ⅲ 危機管理対応力と経営力の強化

⑨ 経営力の強化

取組項目(計画)	H28の主な取組 ():対前年比較	取組に対する自己評価								
○情報共有とPDCA	<table border="1"> <thead> <tr> <th>重点指標</th> <th>H28</th> <th>目標比</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規入院患者数</td> <td>16,353人</td> <td>▲647人</td> <td>▲99人</td> </tr> </tbody> </table> <p> ＜取組＞ ・毎月の診療科会議・看護部会議で各月の経営状況を示して、病院の経営情報を共有 ・新規入院患者の確保等に関する院長ヒアリングを実施し、各診療科毎に分析した。 ・経営分析研修会[6/7 院内研修 外部講師2名] ・職員意識調査の実施し、各部署へフィードバック[H29年2月] ※回答数:1,165人 </p> <p> ＜成果＞ ・病床利用率 (700床) 85.9%(+1.3p) </p>	重点指標	H28	目標比	前年比	新規入院患者数	16,353人	▲647人	▲99人	<p> ■自己評価理由 ・新規入院患者数は目標を達成することはできなかったものの、病床利用率は対前年を上回った。 </p> <p> ・診療情報管理士の採用を行うとともに、経営力向上に向けた人材養成研修を実施した。 </p> <p> ■課題 ・リニアック、高額医療機器の更新 </p> <p> ・消化器系手術への適用拡大が見込まれる、手術用ロボットの導入検討 </p>
重点指標	H28	目標比	前年比							
新規入院患者数	16,353人	▲647人	▲99人							
○事務部門の強化	<p> ＜取組＞ ・診療情報管理士の経営力向上に向けた人材養成研修(H28.8月～H29.6月) ・診療情報管理士の採用2名[H28.4] </p>									
○弾力的な病床運営	<p> ＜取組＞ ・病棟の全看護師長による毎朝のベッドコントロールミーティングの定着 ・救命センターでの集中治療が終了した人工呼吸器装着患者の後方病棟でのスムーズな受入のため、呼吸療法認定士の資格を持つ看護師による勉強会の開催(参加者:106人, 2回実施) </p>									

2 具体的取組状況 (広島病院)

	H27	H28
自己評価	○	○
委員評価	○	○

Ⅲ 危機管理対応力と経営力の強化

⑩ 増収対策

取組項目(計画)	H28の主な取組 ():対前年比較	取組に対する自己評価																												
○医業収益の増加策	<p>《取組》 (新たな加算の取得) ・総合入院体制加算1 (診療報酬請求プロジェクトの活動) ・算定件数が少ない項目、施設基準の要件維持に必要な項目に着目し、4つの診療報酬を検討 ①診療情報提供料(Ⅰ)注7加算、②がん患者指導管理料2、③在宅酸素療法指導管理料、 ④リハビリテーション総合計画評価料 →主な成果:がん患者指導管理料2の算定件数の増加 約30件/月(H29.1~) (診療科の取組) ・循環器系疾患における不整脈に対するペースメーカー治療への即時対応による症例数増加 ・呼吸器系疾患における分子病理診断の強化や積極的な講演発表等の実施による症例数増加</p> <p>《成果》 ・医業収益:213.6億円(+7.0億円) ・入院単価:68.531円(+1,365千円)</p>	<p>■自己評価理由 ・新たな加算の取得、増収プロジェクトの活動などを行った。</p> <p>■課題 ・査定減対策(審査の厳格化)</p>																												
○使用料・手数料の新設・改定	<p>《取組》 ・健康保険法の一部改正により、非紹介患者の初診・再診に係る加算料を改定 初診5,400円(歯科3,240円)、再診2,700円(歯科1,620円) ※平成28年10月1日施行 ・生殖医療に関する検査(SNPマイクロアレイ検査料)の追加準備(H29.4~) 自然流産の原因のひとつである染色体の変異に関する新規検査の追加 検査料105,500円/回</p>																													
○診療報酬請求の改善	<p>《取組》 ・保険診療に関する研修会の開催[講師:浜松医科大学付属病院 小林利彦先生] ・診療報酬請求対策委員会 3回開催(H28.9, H28.11, H29.1) ・レセプト点検メモ発行 2回発行(H28.10, H29.2)</p> <p>《成果》 ・査定額43,875千円(+14,073千円)、査定率0.21%(+0.06p)</p>																													
○未収金対策	<p>《取組》 ・回収担当の嘱託員2人を継続配置 訪問・折衝による納付指導、所在不明者や相続人の調査を実施 ・司法書士法人への回収業務委託(継続)、入院窓口等による高額療養費制度の利用促進</p> <p>《成果》 ・未収金(年度末残高)99百万円(▲4百万円)</p>	<p>《参考》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>過年度未収金の推移</th> <th colspan="3">単位:百万円</th> </tr> <tr> <th></th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度当初</td> <td>146</td> <td>144</td> <td>142</td> </tr> <tr> <td>回収額</td> <td>39</td> <td>41</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>前年度新規発生に 対する割合</td> <td>130.0%</td> <td>110.8%</td> <td>110.3%</td> </tr> <tr> <td>年度末</td> <td>107</td> <td>103</td> <td>99</td> </tr> <tr> <td>新規発生</td> <td>37</td> <td>39</td> <td>34</td> </tr> </tbody> </table>	過年度未収金の推移	単位:百万円				26年度	27年度	28年度	年度当初	146	144	142	回収額	39	41	43	前年度新規発生に 対する割合	130.0%	110.8%	110.3%	年度末	107	103	99	新規発生	37	39	34
過年度未収金の推移	単位:百万円																													
	26年度	27年度	28年度																											
年度当初	146	144	142																											
回収額	39	41	43																											
前年度新規発生に 対する割合	130.0%	110.8%	110.3%																											
年度末	107	103	99																											
新規発生	37	39	34																											

2 具体的取組状況 (広島病院)

	H27	H28
自己評価	○	○
委員評価	○	○

Ⅲ 危機管理対応力と経営力の強化

⑪ 費用合理化対策

取組項目(計画)	H28の主な取組 ():対前年比較	取組に対する自己評価
○適正な材料・備品の購入	<p>◀取組▶</p> <ul style="list-style-type: none"> 品質の確保と患者負担の軽減を基本に、数量割合80%を目指し、後発品利用拡大を実施 高度かつ専門的な医療、新しい医療のための積極的な新規採用 医療の質の向上を目的として運用の見直し及び経営改善のための費用削減を実施 ①ペースメーカーの品質確保を前提に機器の高度化に応じた採用機器の見直し購入金額を低減 ②眼科の眼内レンズについて、広島記念病院と共同で全国平均価格を活用して購入金額を低減 ③造影剤について、品質確保を前提に品目の統合と後発品への切り替え ④アブレーション手術の運用方法(業者の治療立合を行わず、医師・MEで対応)を見直したことで、1社独占の解消、複数業者の参入による競争性の確保 <p>◀成果▶</p> <ul style="list-style-type: none"> 後発医薬品使用数量割合:81.5%(+4.3p) <p>◀参考▶</p> <ul style="list-style-type: none"> 薬品費:36.8億円(+1.4億円), 入外収益比率:17.7%(+0.1p) 診療材料費:27.7億円(+1.6億円), 入外収益比率:13.3%(▲0.3p) 	<p>■自己評価理由</p> <ul style="list-style-type: none"> 後発品への切替を積極的に推進した。 診療材料については、品質の確保を前提に、全国平均価格とのベンチマークや品目統合、運用の見直し等により費用を削減した。 委託業者と連携した取り組みにより、光熱水費を大幅に節減した。 臨床検査委託先の一元化により委託費を削減した。 <p>■課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 更なる省エネルギー化、光熱水費の縮減 高額薬品の増加や給与改定などにより、医薬費用(薬品費・人件費)が増加している。
○経費の見直し	<p>◀取組▶</p> <ul style="list-style-type: none"> 光熱水費の節減対策として、ビル管理の委託業者と連携した取組を実施 ①ボイラーの保温カバー改修, ②LED照明への改修, ③北棟電気室電源切替工事, ④ガス需給契約の見直し <p>◀成果▶</p> <ul style="list-style-type: none"> 光熱水費:4.0億円(▲0.5億円) <p>◀参考▶</p> <p>(委託契約の見直し等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般競争入札から総合評価方式に変更し、品質を担保した入札の実施 空調電気衛生設備保守委託(H29.4~H32.3) 産業廃棄物の適正処理の推進と温室効果ガス等の排出削減を目的に、「裾切り方式(※)」による一般競争入札を実施 感染症廃棄物収集・運搬及び処分業務(H29.4~H32.3), 産業廃棄物収集・運搬及び処分業務(H29.4~H32.3) 保守契約の対象機器を見直して入札を実施 放射線機器保守点検業務(H29.4~H30.3) 	

(※)裾切り方式:環境配慮への取組に関する評価を入札参加資格に定める方式

2 具体的取組状況 (広島病院)

	H27	H28
自己評価	○	○
委員評価	○	○

IV 連携強化

⑫ 2病院の協力状況

取組項目(計画)	H28の主な取組 ():対前年比較	取組に対する自己評価
○医薬品の共同購入	<p>◀取組▶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医薬品の共同購入、品目共通化への取組 ※医薬品について、安芸津病院の品目の約80%を共同して購入契約及び価格交渉を実施 	<p>■自己評価理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安芸津病院と共同した購入契約や価格交渉により、費用節減が図れた。
○医療機能維持・質の向上への協力	<p>◀取組▶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師の診療応援 循環器内科医師(週2回)、呼吸器内科医師(月1回)の派遣 ・看護師の連携 新人看護職員等職員交流会の実施(6./29)(広島病院131人、安芸津病院2人)(再掲) 看護部合同研修会の開催 ・臨床工学技士による支援 <ul style="list-style-type: none"> ①臨床工学技士が安芸津病院へ出向いて医療機器の整備・点検作業(計6日間) 主に人工呼吸器、除細動器などを点検(計123台) ⇒ 推定保守点検費用:1,551千円の節減 ②集合研修の実施 研修テーマ:適切なアラーム設定～ME機器取扱いの基礎～、安芸津病院モニター勉強会 ③安芸津病院からの機器郵送による広島病院内での保守・点検作業 輸液ポンプ・シリンジポンプ、低圧持続吸引器などを点検 ・改善活動の連携 広島病院開催の研修会への安芸津病院職員の参加など、効果的・効率的な活動を展開 広島病院から職員が定期的に訪問し、連携した取組を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・連携した機器の保守点検等を行い経費節減に協力した。 ・研修や改善活動の取組を共同で実施した。 <p>■課題</p> <p>改善活動や人材育成の更なる連携した取組の推進</p>

2 具体的取組状況 (広島病院)

	H27	H28
自己評価	○	○
委員評価	○	○

V 決算・目標指標

⑬ 収支改善・目標指標の達成

取組項目(計画)	数値目標	取組結果(H28)	達成状況	課題・今後の取組
1. 新規入院患者数	17,000人/年	16,353人	未達成	<p>○課題・特記事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き経営改善に努めた結果、経常収支の黒字を達成できた。 <p>○今後の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画で掲げる経営目標の達成へ向けて引き続き経営改善に取り組むとともに、地域医療構想の動きに対応しながら、広島県の医療水準の維持向上のため、県の基幹病院としての役割を果たす。
2. 平均在院日数	11.6日	10.8日	☆ 達成	
3. 紹介率	80.0%	94.7%	☆ 達成	
4. 逆紹介率	80.0%	93.3%	☆ 達成	
5. 救急車受入数	5,645台/年	5,301台	未達成	
6. NICU・GCU患者受入数	9,400人/年	10,676人	☆ 達成	
7. がん患者数	4,079人/年	4,658人	☆ 達成	
8. 全身麻酔手術件数	4,434件/年	4,273件	未達成	
9. 看護必要度を満たす患者の割合	18.0%	新基準29.5%	☆ 達成	
10. 初期臨床研修医受入数	32名	35名 (28年度受入実績: 広大たすきがけ研修医(2名)を含む)	☆ 達成	
11. 経営に関する指標	経常収支の黒字	300,487千円	☆ 達成	